

東京平和公園
今後の日本の平和を願って
Tokyo Peace Park
Hope the peace of Japan in the future

佐藤信治¹, ○辻普²
 Shinji Sato¹, *Hiroumu tsuji²

War many have been made in the world today. America is trying to shine a war with Syria in recent years, war is unending. In order to prevent war expansion in the future, to abandon the war in the future, Japan experienced strongly the misery of war, and insisted on peace, peace with the fact of war the world and to understand the importance of peace going to take over the next generation awareness of it is important. But 68 years after the end of World War II celebrated, those who are alive are becoming fewer generations to know the war in Japan, lowering of consciousness for peace after this has been an issue of concern. In recent years, Abe Cabinet from its inception, there is a movement in the opposite direction and the revision of Article Nine, such as the Armed Forces initiative, the renunciation of war, seen many remarks further like to affirm the war, such as net on has come to. So in order to keep going in the future, the will of the peace of Japan, to plan the Holy Land for a new peace in the heart of Japan in this thesis.

1. はじめに

今世界では数多くの戦争が行われている。最近ではアメリカがシリアとの開戦を決行しようとしており、戦争が後を絶たない。世界が平和の大切さを理解し、そして今後の戦争拡大を防ぐためには、戦争の悲惨さを強く経験した日本が、今後も戦争を放棄し、平和を強く主張して、戦争の事実とともに平和への意識を次の世代に引き継いでいくことが重要である。

しかし、日本では終戦を迎え68年が経ち、戦争を知る世代でご存命の方が少なくなってきており、この後の平和への意識低下が懸念されている。また近年、阿部内閣が発足してから、憲法九条の改正や、国防軍構想などの、戦争放棄とは逆方向の動きがあり、さらにはネット上などで戦争を肯定するような発言も多くみられるようになってきている。そこで本卒業制作では日本の平和の意志を、今後も保っていくために、日本の中心地に新たな平和の聖地を計画する。

2. 現状

現在、長崎や広島、沖縄には大規模な平和公園が設けられ、隣接するミュージアムなどの利用率も非常に高い。また学校教育においても、夏休みである原爆の日には平和集会在設けられるなど、平和への意識や、戦争の知識が後世に伝わるような体系が整っている。しかし日本で人口密度の最も高い東京都心には大規模な平和公園やミュージアムはなく、それに類似する施設で、唯一知名度の高い靖国神社は永久戦犯が祭られていることや、宗教と結びついていることが原因で、国家間

の争いの種になっている現状がある。平和教育に関しては、授業には取り入れられているものの、東京大空襲の日や終戦記念日などは集会などがなく、戦争に関する知識は少ない。

戦争は不況などの経済的理由や政治的理由から起きる。その歯止めとなるものは、戦争の知識、そこからくる恐怖心、または、平和の象徴、そこからくる平和への意識である。その歯止めとなるものが東京都心では充実していない。

3. 基本計画

3-1 計画目的

- ・日本人に平和の意識を持ってもらうこと、若しくは今ある平和の意識を維持させること。
- ・平和の意志と戦争の悲惨な歴史を後世に伝えること。

3-2 用途

戦争ミュージアムを有する平和公園

「平和公園」について・・・

“平和公園は単に「聖地」、 「犠牲者の慰霊・鎮魂の場」であるだけでなく、各平和記念施設やその周辺区域を含め、「惨禍を学び、平和を考える場」、また、人々が「集い、憩う場」であるとともに、魅力ある街づくりの観点から「都市の賑わいの場」としての機能の一部を担っていくことが考えられる。”（広島市ホームページから抜粋）

平和公園は町の日常に取り込まれ、そこに当り前に存在し、普段は何の重たいメッセージもないが、そこ

1 : 日大理工・専任講師・海洋建築工学科 Department of Oceanic Architecture & Engineering, CST., Nihon-U.

2 : 日大理工・学部・海洋建築工学科 Department of Oceanic Architecture & Engineering, CST., Nihon-U.

に象徴的な記念碑があったり、節目の時には式典が行われたりすることで、平和の聖地であるという認識を持たせ、普段利用する人々に、潜在的に平和を意識させる場所である。

本計画では日本で最も人口が集中する東京都心に、平和公園を計画する。東京大空襲の日や終戦記念日などには式典の場として利用でき、平常時は、人々が多く集まる公園として利用する。そこに戦争ミュージアムを併設することで、興味を持った人に戦争の事実を伝える場ともなる。

3-3. 敷地選定

御茶ノ水駅周辺



Figure 1. Tokyo air raid damage map of the old Kanda
本敷地は周囲が空襲で甚大な被害を受けていながらも、神田川が防火線となったことで奇跡的に延焼を免れた地域である。Figure 1. は延焼を免れた地域を示した被災地図である。生き延びたこの地域に日本平和の新たな象徴となる平和公園を計画する。また、お茶の水は大学などが集中しており、若い世代の人々が多く足を運ぶ街である。よって今回の計画目的を考慮し本敷地を選定した。



Figure 2. Proposed site plan
御茶ノ水駅付近の神田川沿いにある線路上を利用し計画する。 Figure 2.に敷地を示す。

4. 線路上空間の利用

長崎、広島、沖縄の平和公園は広大な敷地を持っている。特に沖縄は平和祈念公園だけでも 470,000 m²ありとても広大で、広島が約 122,100 m²、長崎が 180,000 m²と、どれも大規模なものである。これを東京都心で計画するには土地の確保が難しくそこで本計画では線路上を利用して敷地を確保する。東京には蜘蛛の巣のように張り巡らされた鉄道の線路があり、東京を走っている路線分だけでもその距離は 1500 kmを超える。その、線路上の空間を有効活用する。

5. 公園の建築化

上記の理由面積の確保はできるが、人の動きを考慮すると式典などを行う際に最も人が集まる公園のかくとなる部分の面積を確保できない。そこで、公園を建築化し多層化することで、さらなる面積確保を行う。



Figure 3. Architecture image Perth

6. 平和公園を人々の日常に取り入れる

カフェやレストラン、ショッピング施設など人々が日常的に利用する施設を併設させて、日常の風景を公園内に取り入れることで、平和公園が人々の日常に取り入れられるよう計画する。そうすることで平和や戦争といった言葉に触れてこなかった人々の日常に、新たなきっかけを与えることができ、またこれからの世代の日常に平和の聖地が取り入れられる。

7. 参考文献

- [1] 早乙女勝元 『図説 東京大空襲』 河出書房新社 (ふくろうの本)、2003 年
- [2]”広島市ホームページ”<http://www.city.hiroshima.lg.jp>
- [3]”AKIBA スコープ” <http://www.akiba-scope.net/>
- [3]コンピュータソフト“Google Earth”